

SSKU **2016年度**
お元気ですか?
イリアンソス
です。



PAGE

03 特集 生活寮BBQ ～楽しい余暇支援の取り組み～

PAGE

02 理事長の散歩道⑭

PAGE

06 コラム 新人職員が目線

PAGE

07 がんばれ！イリアンソス⑲

理事長の散歩道



理事長の散歩道 ⑬

社会福祉法人イリアンソス
理事長 磯部光孝

相模原の事件について思う

去る7月26日未明、神奈川県相模原市の障害者施設で入所者19人が殺害され、職員を含む27人が負傷する事件が発生しました。この事件が、19名もの大量殺害という戦後最悪の凶悪犯罪であり、殺戮の舞台が障害者施設であることに驚きました。しかもわたしたちが日常、接している重複障害者がターゲットにされてしまったことや容疑者が元施設職員であり、かつ措置入院歴があったことを考えると障害当事者家族、そしてわたしたち関係者にとってもたいへん大きな衝撃を与えています。

しかし、最近の報道では、オリンピックでの日本人の活躍を連日放送されていて、この事件についてはほとんど触れることなく、一般の方々にとっては忘れ去られてしまったニュースなのかもしれません。先日の8月21日、わたしは友人となくなつた方々への追悼の意を込めて、その施設に献花に訪れました。相模湖駅からバスで施設まで行きましたが、バスに同乗されていた方

も献花されていきました。その他にも車で車いすの方も家族とともに来所されていきました。献花台にはたくさんの方が置かれ、多くの方が訪れていることが分かりました。この事件に心を痛めている方々が一人ひとりつながって、亡くなられた方々への哀悼の念を紡いでいるのだと感じました。

ただ、門の中には警察の方が警備されており、人の出入りは全くなく住んでいる気配は感じられませんでした。事件のあった建物もその当時のままの状態だそうです。そのため、この施設で暮らしている方々は敷地内の体育館で避難生活を送らなければならぬ状況が続いています。ニュースは流れなくても、事件は続いているのです。日常を取り戻せていない障害のある方やスタッフを一刻も早く安心できる暮らしを取り戻していくためにも、多くの人にこの事件に対し関心をもつていただきたいと思えます。

この事件に対して、海外から続々と声明が送られてきています。

26日にはホワイトハウスから「障害者施設で事件が起きたことに強い嫌悪感を感じる」という主旨の声明を発表がありました。同じ日には、ロシア大統領プーチンは「無防備な障害者に対する犯罪は、その残忍さと冷酷徹さで衝撃を与えた」と弔電を出しています。そして、27日にはローマ法王フランシスコは事件で人命が失われたことに「悲嘆」を表明し、「困難な時における癒し」を祈願したと

報道がありました。

こうしたこの事件に対する具体的な声明を発し、追悼の意を表してくれています。しかし、わが首相からは27日になって「心からご冥福とお見舞いを申し上げます。真相解明に政府も全力を挙げたい」とどまっています。残念ながら具体的な内容とはなっており、この事件に対する受け止め方の違いに我が国の人権意識の低さを感じます。もともとつと声を上げていかなければと改めて思いました。

7月には熊本への支援に2度、1週間行ってきました。そこでも、人権について感じたことがあります。それは、今回の熊本地震については、地元の方々に聞くと、「まさか、地震が来るとは」と思っていたそうです。つまり、準備が全くされていなかったようです。そして、今回応急仮設住宅を見学したのですが、バリアフリーの建物は、1割と決まっております。50世帯のうち4世帯が車いすが行けるようにスロープがありました。しかし、バリアフリーは障害のある人だけのためにあるのではなく、お年寄りや妊婦の方、病弱の方など暮らしにくさを少しでも解消するためにあると思います。人権を大切にしているのであれば、割合でスロープの数を決めるのではなく、その村の実情や被害にあった方たちの実情に合わせて、応急仮設住宅を設置すべきではないでしょうか。たとえ応急といっても何年も暮らす場ですから。



特集

生活寮BBQ！！

～楽しい余暇支援の取り組み～

今回の特集は生活寮のバーベキュー大会の様子をお伝えしていきます。今年で6回目を迎えて、ゴールドデンウイークの恒例行事として定着しました。生活寮での暮らしにも慣れてきて、新たなイベントをおこなうことで、より充実した生活が送れるのではないかと思います。ということで企画をしてきました。当日の入居者のみなさんの様子やこれまで取り組みの中から見えてきたことなどをにぎやかな写真と共に紹介してもらいます。

生活寮の交流

～毎年恒例バーベキュー～

○生活寮バーベキューって？

2016年5月7日(土)ゴールドデンウイーク最終日、おいしいものを食べてみんなで仲良く交流しましょう！ということ、にじかぜでバーベキューが始まりました。

うみそら・にじ・かぜのユニット合同でおこなう、毎年の恒例行事となっています。今年も天気に恵まれ、絶好のバーベキュー日和になりました。

毎年バーベキューをおこなう目的は、先に書いた通りおいしいものを食べるため、他入居者やスタッフと交流するため、となっています。生活寮の入居者の方同士、ユニットが違うとなかなか関わる機会が持てません。生活寮の恒例行事といえばクリスマス会もあります。生活寮の恒例行事といえればクリスマス会もありませんが、ここ数年はユニットごとの開催となつているため、バーベキューは他ユニットとの数少ない交流の場となっています。

○バーベキューが待ち遠しくて

朝起きて「今日はバーベキューですね！」と声をかけると、皆さん楽しみにしているようでにっこり笑顔を見せてくださいました。

お肉のために朝ご飯の量を調整する方もいらつしやう、なんだか寮全体がそわそわしています。

うみそらの入居者の皆さんはにじかぜまで歩いて向かうため、朝食後少し時間に余裕があります。出発まで待ちきれないのか、はたまたお肉の行方が心配なのか、窓の外をちらちらと見ている方もいらつしやいました。「お肉は逃げませんよ」なんてスタッフから声をかける場面も見られました。

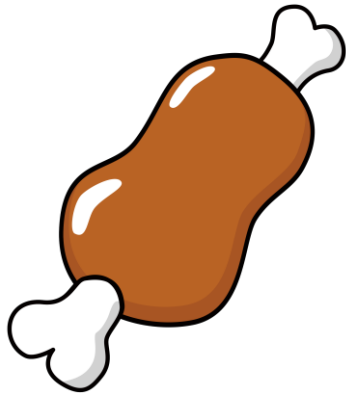


△「今か今かと待ち遠しい～」

○日頃のおこないの素晴らしさで

雲ひとつない晴天のもと、バーベキューが始まりました。にじかぜでは、鉄板からおいしいお肉が焼ける良い香りが広がっています。準備されたテーブルにはこれまたおいしいような飲み物が並んでいます。うみそらからの移動で疲れたし、料理が出来るまで待ちきれないし、と、それぞれに好きな飲み物を選んで一息つきます。

もう我慢の限界!と思ったタイミングと同じくして、焼きそばや野菜、そしてお待ちかねのお肉が焼きあがりました。すでに取り分け用の大皿が並ぶテーブルには行列が出来ています。そして鉄板から大皿にうつされたと同時になくなりました。とれなかった方は次が焼きあがるまでお預け!食べる担当としては悲しい限りですが、焼く担当からすると作り甲斐があります。嬉しい限りです。皆さんのおかげで、食べ物は出来上がった瞬間に売り切れるほどでした。皆さん見事な食べっぷりでした。



△「一人落ち着いて室内で食べます。」



△「職員はどんどん、お肉を焼きます」

○おかげさまで

ご家族の方、日中事業所のスタッフが手伝いに来てくださり、とてもにぎやかなバーベキューとなりました。「もう食べられない」と、満足そうな皆さんの幸せそうな顔を見ることが出来て嬉しかったです。タイミングが合わず、食べたいものを逃してしまった方もいらっしやるかもしれません。来年こそは!リベンジしましょう!

5月なのにまるで夏のような暑さだったので、差し入れにいただいたアイスがからだにしみました。ご協力いただいた皆さんのおかげで、お腹いっぱい、楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました!

生活寮うみ 秋元沙織



△「暑い中、テントの下で準備します。」

コラム 「新人職員の目線」

活動センターかなえに入職し4ヶ月程が経過しました。入職して直ぐの頃は、コミュニケーションが中々上手く取れずすれ違う日々でした。私の目を見て何かを伝えてくれているのに気持ちを読み取る事が出来ない自分にもどかしさを感じました。先輩方に相談をすると「焦らなくて良いですよ。時間を掛けて相手の事を良く知り、沢山関わる事で信頼関係が出来ます。」と言って頂きました。その時、焦っている自分に気付く事が出来ました。翌日から一人ひとりのコミュニケーションをとる時間を大切にしていきました。今となり少しずつ表情や行動を見て気持ちを読み取る事が出来てきていると実感します。

皆さんと関わる時間は私にとって幸せな時間です。皆さんの笑顔を見ると元気をもらいます。私も皆さんの笑顔となり、信頼される職員になります。

ご利用者のご家族と関わっていると、子供の愛情が伝わります。ご家族は明るい方が多いですが、今まで多くの苦労があったと思います。時間を掛けてご家族とも信頼関係を結びご家族の気持ちを知らりたいと思います。

活動センターかなえ 中村茅鶴



△「笑顔で話をする中村さん(右)」

こんにちは！今年の四月から新入職員として生活寮に入職しました、越前屋太一です。初めのうちは、日々の業務を覚えたりすることに精一杯で、入居者の方と意思を通わせる余裕などありませんでした。今も、そしてこれからも、自信を持って「自分は思いのキャッチボールがしっかりできます！」とは言えないと思いますが、それでも、本当にたまにはあります。お互いに通じ合えたな！と感じられる瞬間は確かにあります。

自分の中で正解を決めずに、色々な角度からアプローチしていくことを忘れずにいたいと思います。

「生活寮」は、その名の通り生活の場です。私たちが日中(生活寮職員は夜勤があつ



△「食事介助のようす(右)」

たりもしますが・・・)仕事を頑張っていて、家に帰ってふうふうと一息つくのと同じように入居者の方にとってもリラックスして思い思いの時間を過せる場所でありたいと思っています。私も、誰かが気を張ってこちらをずっと見ている場所では落ち着けませんし、四六時中誰かに話しかけられていたのでは心が休まりません。

支援に際して、ついつい手を出しすぎてしまい視野が狭くなってしまふことが多々あります。心と心の距離をしっかりと保ちつつ支援にあたることを大切にしていきたいと思ひます。

そしてなにより、入居者の方が落ち着いて元気に過ごせる為には、まず職員が落ち着いていて元気である必要があると思ひます。

寮に帰ってきた入居者の方を明るく迎え入れられるよう、これからも頑張っていきます！

生活寮そら 越前屋太一

連載 がんばれ イリアンソス! シリーズ⑬

『身体づくりを通して』

理学療法士 伊藤いづみさん

2015年から、のぞみの家に理学療法士の伊藤さんが1ヶ月2回ほど来てくれています。利用者の方の身体の様子を見てストレッチプログラムを作成してくれています。

今までもストレッチの時間を作っていました。専門家の視点が入ることにより、更に利用者1人1人に合ったストレッチが出来るようになりました。

今回は、そんな伊藤さんに一問一答です。

問一・簡単に自己紹介をお願いします。

答一・伊藤いづみと申します。年齢は：知りたい方は個別に聞いてください。

家族構成は祖母・夫・娘の4人家族です。趣味はお菓子やパン作りです。身体を動かすことが好きなのですが、最近あまりスポーツできずです。

問二・現場に入る時に心がけていることはありますか?

答二・笑顔でハキハキ応答できるように心がけています。できるだけ「相談の答え」をその日のうちに少しでも出していけるよう努力し

ています。

問三・のぞみの家の身体づくりを通して感じることはありますか?

答三・利用者さん、職員の方々が「身体づくりへの思いがとても熱心なので、私も一人一人に合ったプログラム作りをやりたいと思います。」と考えています。

問四・最後にひとことお願いします。

答四・いつも難題をぶつけて下さってありがとうございます!燃えます!

これからも一緒にいっばい考え、いっばい話し合い、皆様と前に進んでいきたいと思っています。

これからも宜しくお願いします。

ありがとうございます!いつも利用者の目線で提案してくれる伊藤さんです。これからも一緒に頑張っていきましょう!



法人行事

くるてん

『リサイクル久留店』のぞみの家 チャレンジ班のバザーです。

◎日程：10月6日(木) 20(木)

◎場所：滝山団地センター前広場

※雨天中止 気温によって中止・時間短縮の場合もあります。

ご寄付をいただきました(8月末まで)

法人各施設にご寄付をいただいております。誠にありがとうございます。誠にありがとうございました。いただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来構想の資金として大切に使用させていただきます。

吉村 成弘様
藤田 祐子様

ありがとうございます。

編集後記

活動センターかなえ、なかまの家では市から委託された「市報ひがしくるめ」を毎月2回配っています。7月は参議院選や都知事選の選挙広報紙も配ることになり、とても忙しい月でした。ついつい、福祉政策についてどれほど触れているだろうとどんな候補者がいるか配りながら気になりました。利用者さんが住みやすい街、働きやすい街、そして皆が幸せになる願いをこめて投票にいきました。

活動センターかなえ 廣智章

表紙の写真／

寮のBBQ。

にぎやかにたくさん食べました。

《 発行 》

特定非営利法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17

ヴェルドナーラ祖師谷 102号室

Tel 03-6277-9611 Fax 03-6277-9555

《 企画、編集 》

社会福祉法人 イリアンソス

〒203-0043 東京都東久留米市下里 2-7-18

Tel 042-473-9027 Fax 042-473-9036

《 編集委員会 》

磯部光孝・多田由美・廣智章

秋元沙織・橋本大介・吉田遊佑

吉田貴吉・矢島正樹

ホームページからはカラーで

ご覧いただけます

イリアンソス



定価 一〇〇

社会福祉法人イリアンソス

●のぞみの家

東久留米市下里 2-7-18

042-473-9027

042-473-9036 (F)

nozomi@iriansos.or.jp

●活動センターかなえ

東久留米市南沢 2-20-51

042-452-6405

042-452-6415

kanae@iriansos.or.jp

●なかまの家

東久留米市中央町 2-1-47

042-472-7130

042-444-3722 (F)

nakama@iriansos.or.jp

●生活寮「うみ」「そら」

東久留米市下里 4-2-7

042-476-3400 (F兼)

sora@iriansos.or.jp

●生活寮「にじ」「かぜ」

東久留米市下里 5-10-10

042-420-9943

kaze@iriansos.or.jp

●このみ

東久留米市幸町 3-8-23

042-473-9667